

腸内細菌の話：

私達の腸の中には約100種類100兆もの細菌が存在しており、その腸内細菌は善玉菌、悪玉菌と日和見菌（中間菌）の3大グループで構成されています。その中で一番数が多いのは7割を占める日和見菌で、次に2割の善玉菌と1割の悪玉菌です。加齢、不規則な食生活や偏った食事、さらにストレスや抗生薬物の濫用などで善玉菌が減少します。それによって腸内細菌のバランスが崩れ、自己免疫力が低下、身体全体の老化現象が加速します。そして、身体に不調のサインが出てきます。



腸内細菌の働き：

悪玉菌

腸内細菌叢のバランスを悪化させる。腸内タンパク質をエサにして腐敗し、有害物質を作る（ウェルシュ菌、ブドウ球菌など）

日和見菌（中間菌）

善玉菌、悪玉菌どちらの味方にも成る。通常は無害であるが、腸内細菌叢のバランスが崩れると、活動が活発になり、有害物質を生成する悪玉菌のような働きもする

善玉菌

腸の働きを整える。悪玉菌の増殖を抑制、感染防御。腸内でビタミン類の生産と合成。消化管の粘膜免疫機能を刺激（納豆菌（枯草菌）、機能益活菌など）

生きたままの善玉菌があなたのカラダを健やかにします



新規機能善玉菌（ミツバチ益活菌MS-1株）

[日本特許第4913117号] [台湾特許第 I 425915号]

適度な運動、良い睡眠、笑顔で楽しく、バランスの良い食生活を心がけ、「サプリメント」も補うことにより健康で輝きのある日々をお過ごしいただけます。これからもずっと、お客様のクオリティーライフにプラスとなれば幸いと存じます。ありがとうございます。

